

第15回 交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会

**環境調査結果について**  
(東京～大阪間のうち、山梨～長野間を除く)

平成23年2月1日

## <目 次>

### 1. 調査範囲 (p1~14)

- ①調査範囲の位置 . . . . . p2~4
- ②調査範囲の取り扱い . . . . . p5
- ③調査範囲の周辺状況 . . . . . p6~14

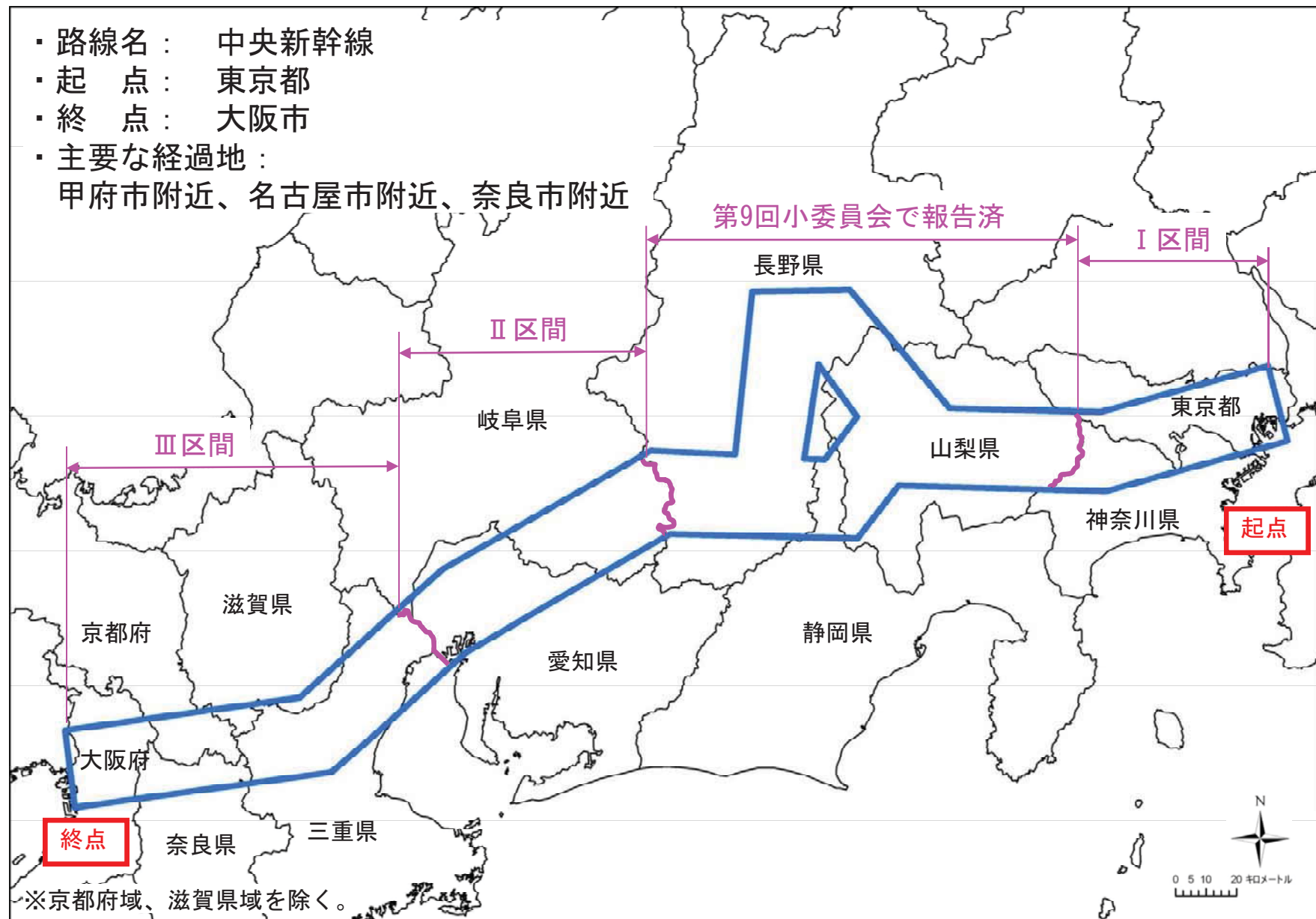
### 2. 地域特性 (p15~96)

- ①大気環境 . . . . . p16~27
- ②水環境 . . . . . p28~39
- ③土壌環境・その他 . . . . . p40~45
- ④動物・植物・生態系等 . . . . . p46~81
- ⑤景観 . . . . . p82~87
- ⑥触れ合い活動の場 . . . . . p88~90
- ⑦文化財 . . . . . p91~93
- ⑧廃棄物・温室効果ガス . . . . . p94~96

### 3. まとめ (p97)

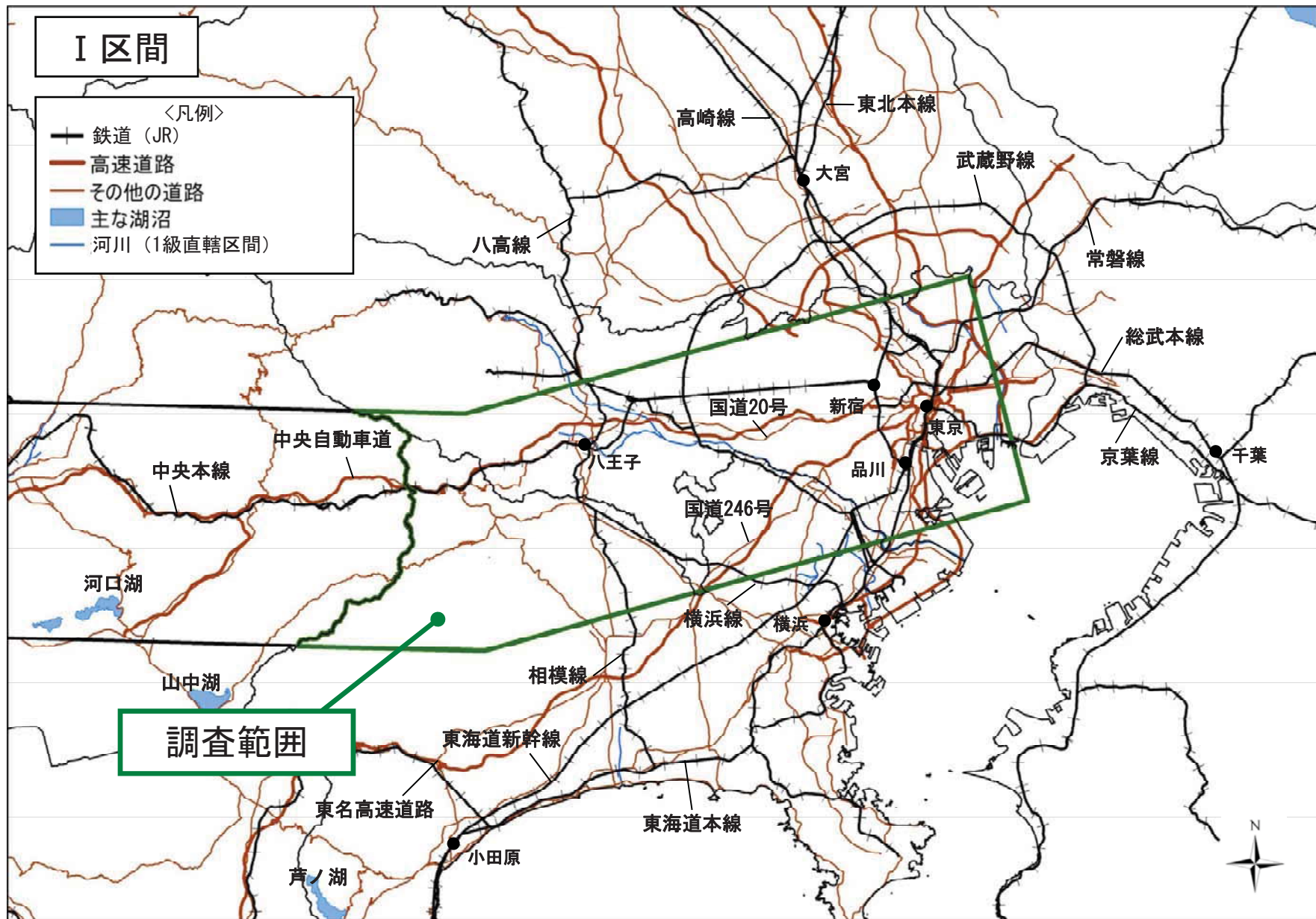
# 1. 調査範囲

- ・路線名： 中央新幹線
- ・起 点： 東京都
- ・終 点： 大阪市
- ・主要な経過地：  
甲府市附近、名古屋市附近、奈良市附近



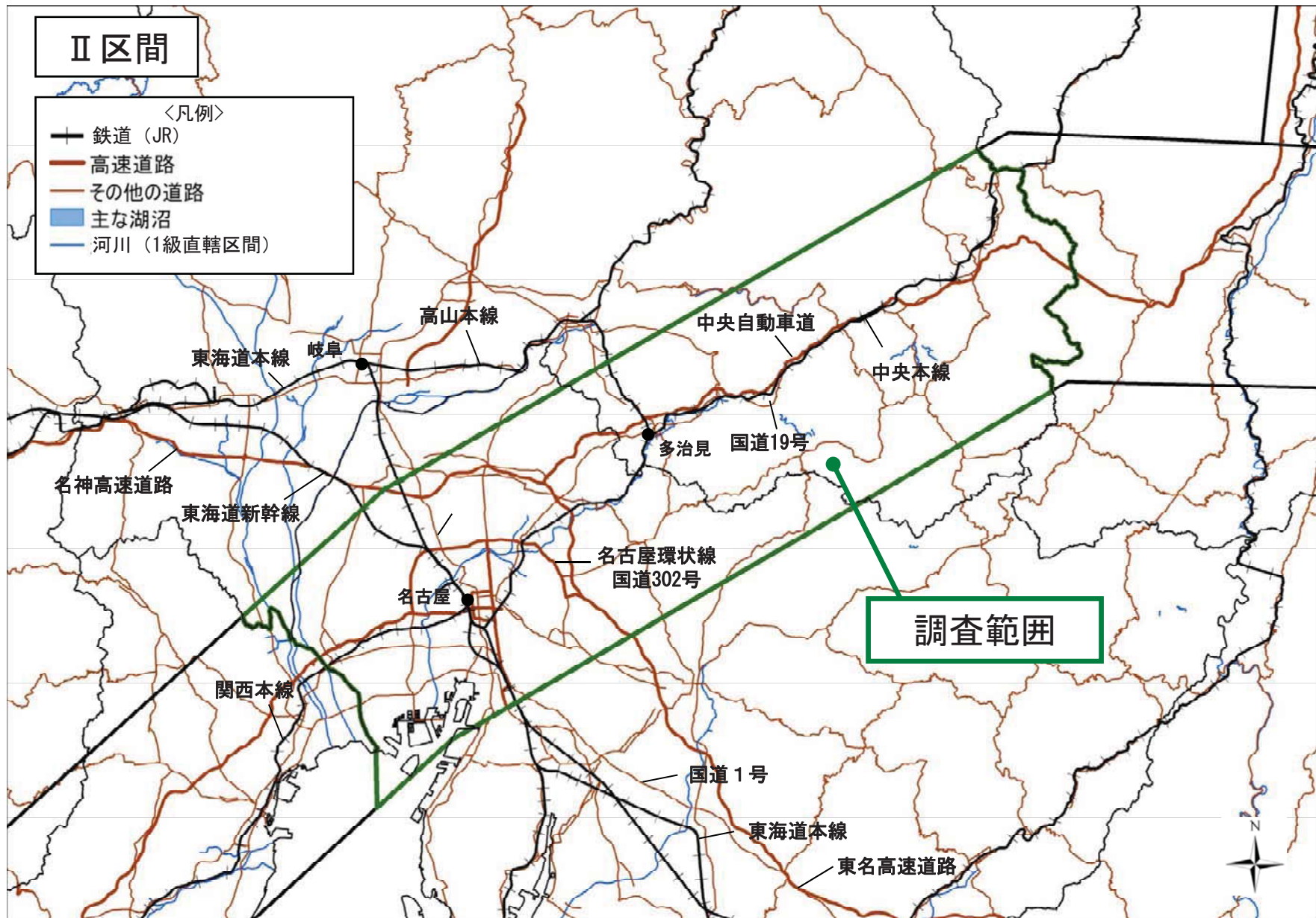
# ①調査範囲の位置

## 1. 調査範囲



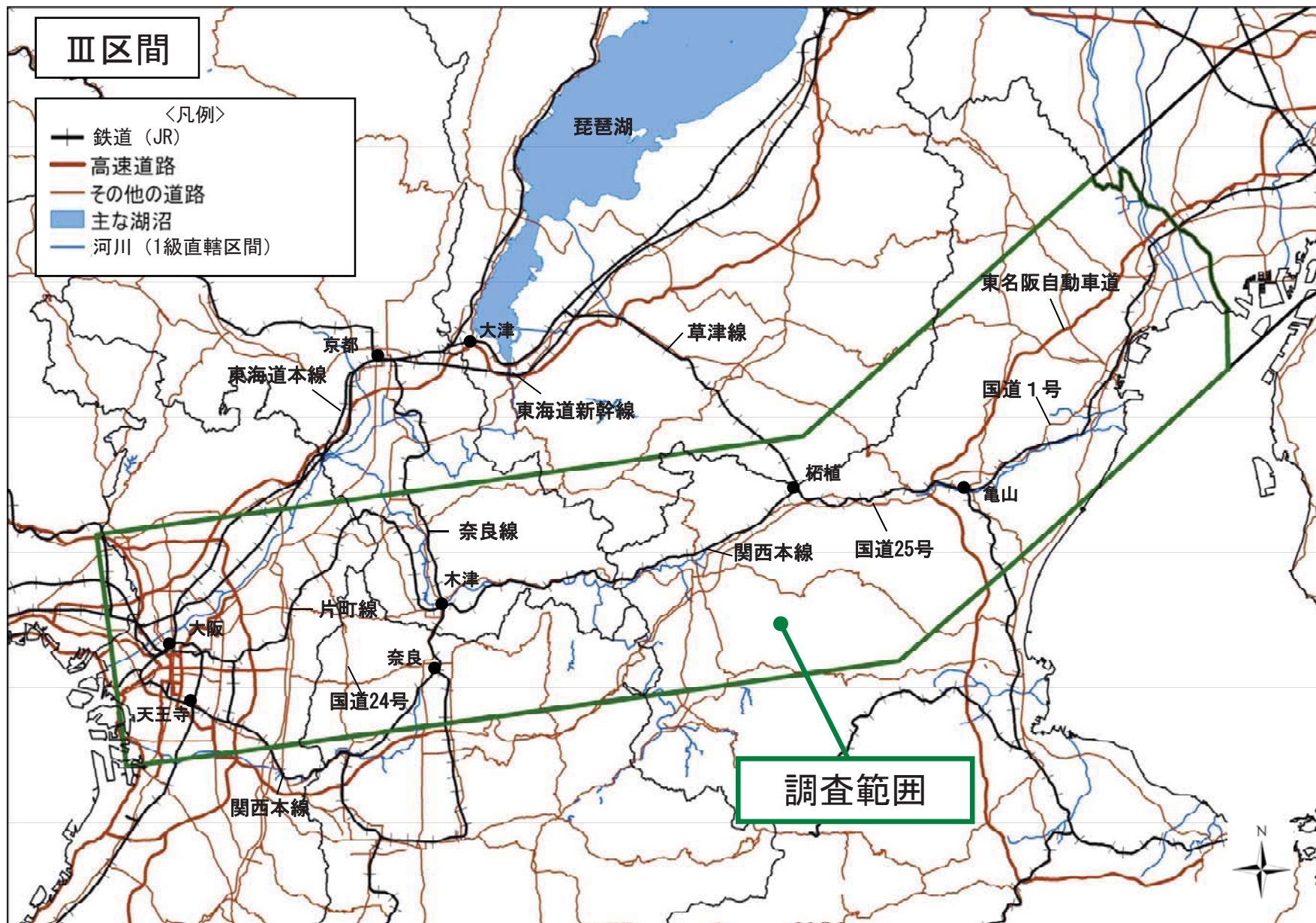
# ①調査範囲の位置

## 1. 調査範囲



# ①調査範囲の位置

## 1. 調査範囲



## ②調査範囲の取り扱い

### 1. 調査範囲

#### 1) 調査対象範囲

- ・ 東京都から大阪市までの区間を対象とする。  
(山梨県、静岡県、長野県は第9回小委員会で報告済みのため除く。)
- ※ 滋賀県、京都府域については調査範囲外であるが、参考のため、  
国および府県のホームページ等にて入手可能なデータを図示した。
- ※ 大都市圏の扱い方  
鉄道、道路、駅名などは省略する。

#### 2) 集計方法

- ・ 面的、線的、点的な情報に分けて、調査対象範囲内について集計する。
- ※ 滋賀県、京都府域については集計していない。
- ※ 区は東京都の特別区（23区）のみ表示・集計した。

#### 3) 収集資料

- ・ 収集資料は国、都府県の公表している資料とし、  
環境要素8項目（①大気環境、②水環境、③土壌環境・その他、  
④動物・植物・生態系等、⑤景観、⑥触れ合い活動の場、  
⑦文化財、⑧廃棄物・温室効果ガス）について整理した。





### ③調査範囲の周辺状況 〈市町村の状況〉

#### 1. 調査範囲

#### Ⅱ 区間

- 対象エリアには2県内の36市町村が含まれている。

〈凡例〉

□ 市町村界



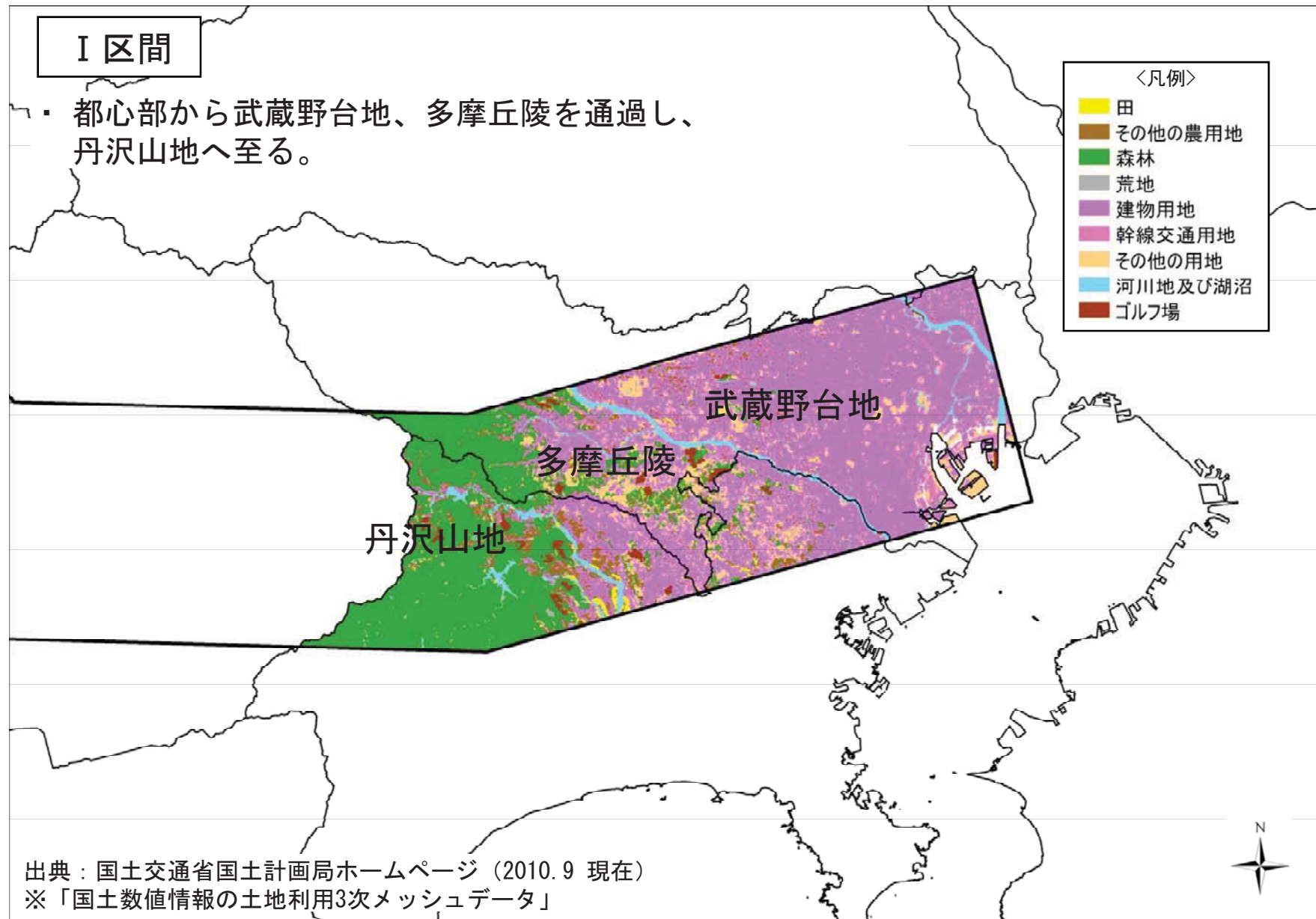


### ③調査範囲の周辺状況 <土地利用の状況>

#### 1. 調査範囲

#### I 区間

- 都心部から武蔵野台地、多摩丘陵を通過し、丹沢山地へ至る。



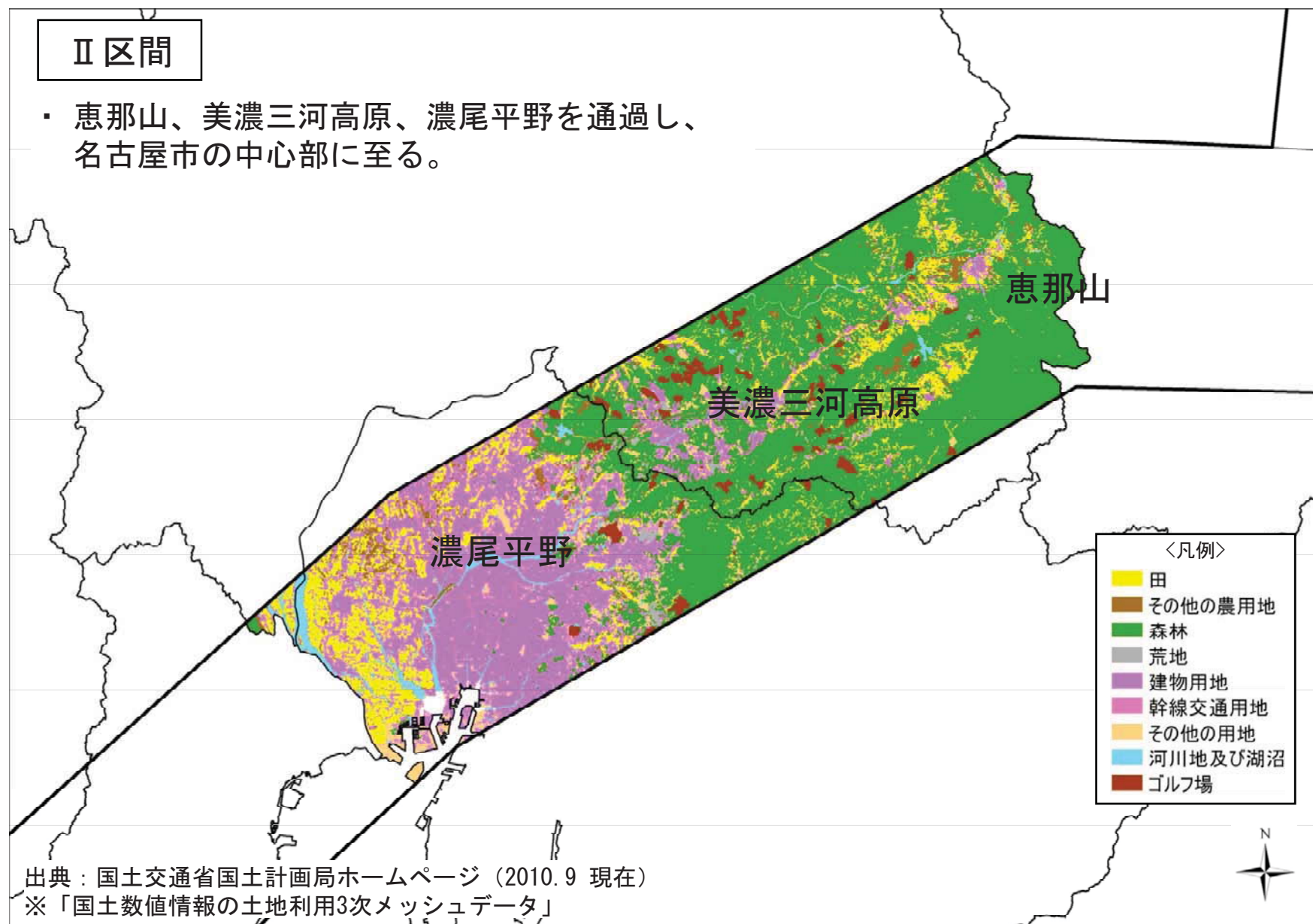
出典：国土交通省国土計画局ホームページ（2010.9 現在）  
※「国土数値情報の土地利用3次メッシュデータ」

### ③調査範囲の周辺状況 〈土地利用の状況〉

1. 調査範囲

#### Ⅱ 区間

- ・ 恵那山、美濃三河高原、濃尾平野を通過し、名古屋市を中心部に至る。

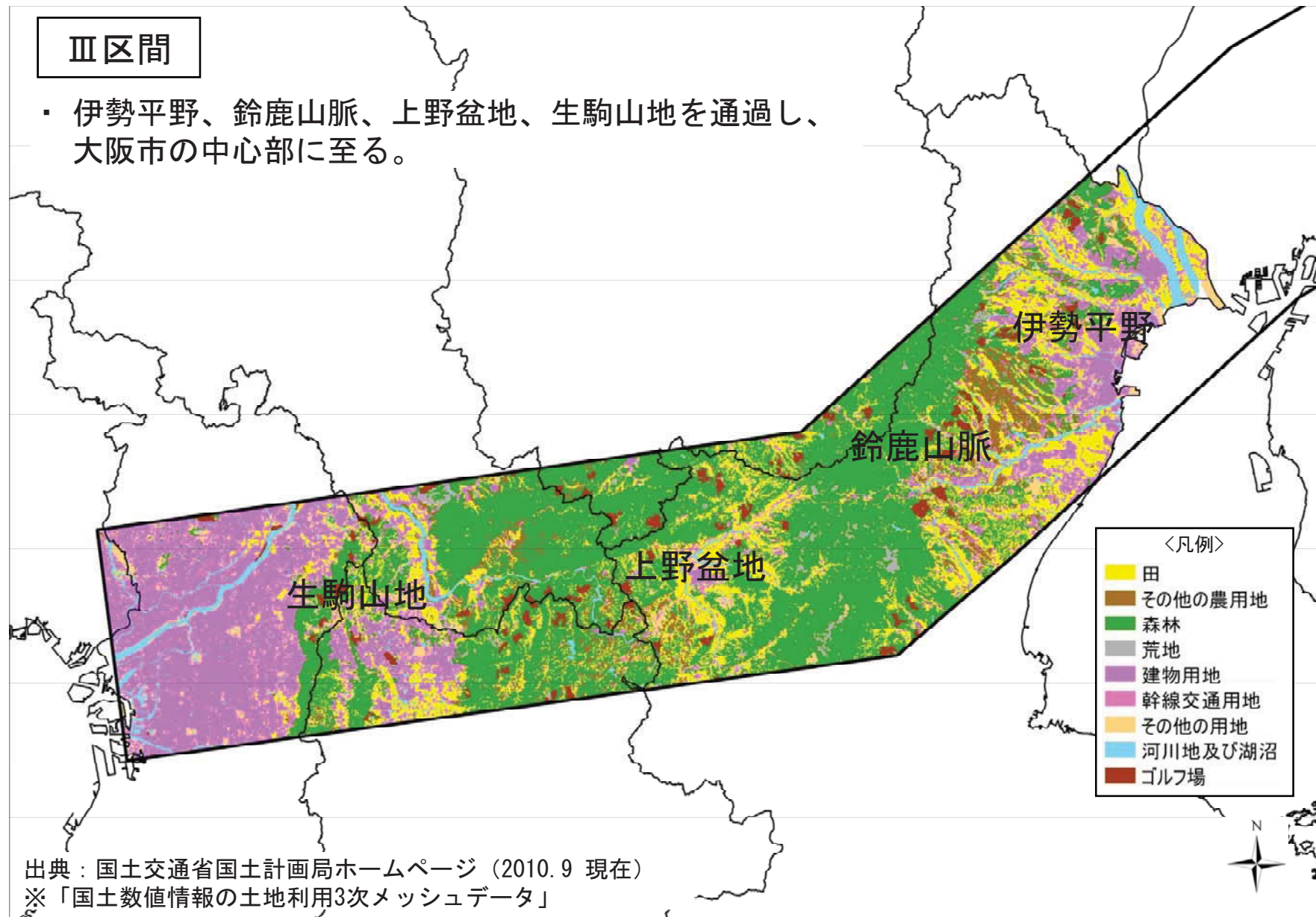


### ③調査範囲の周辺状況 〈土地利用の状況〉

1. 調査範囲

#### Ⅲ 区間

- ・ 伊勢平野、鈴鹿山脈、上野盆地、生駒山地を通過し、  
大阪市の中心部に至る。

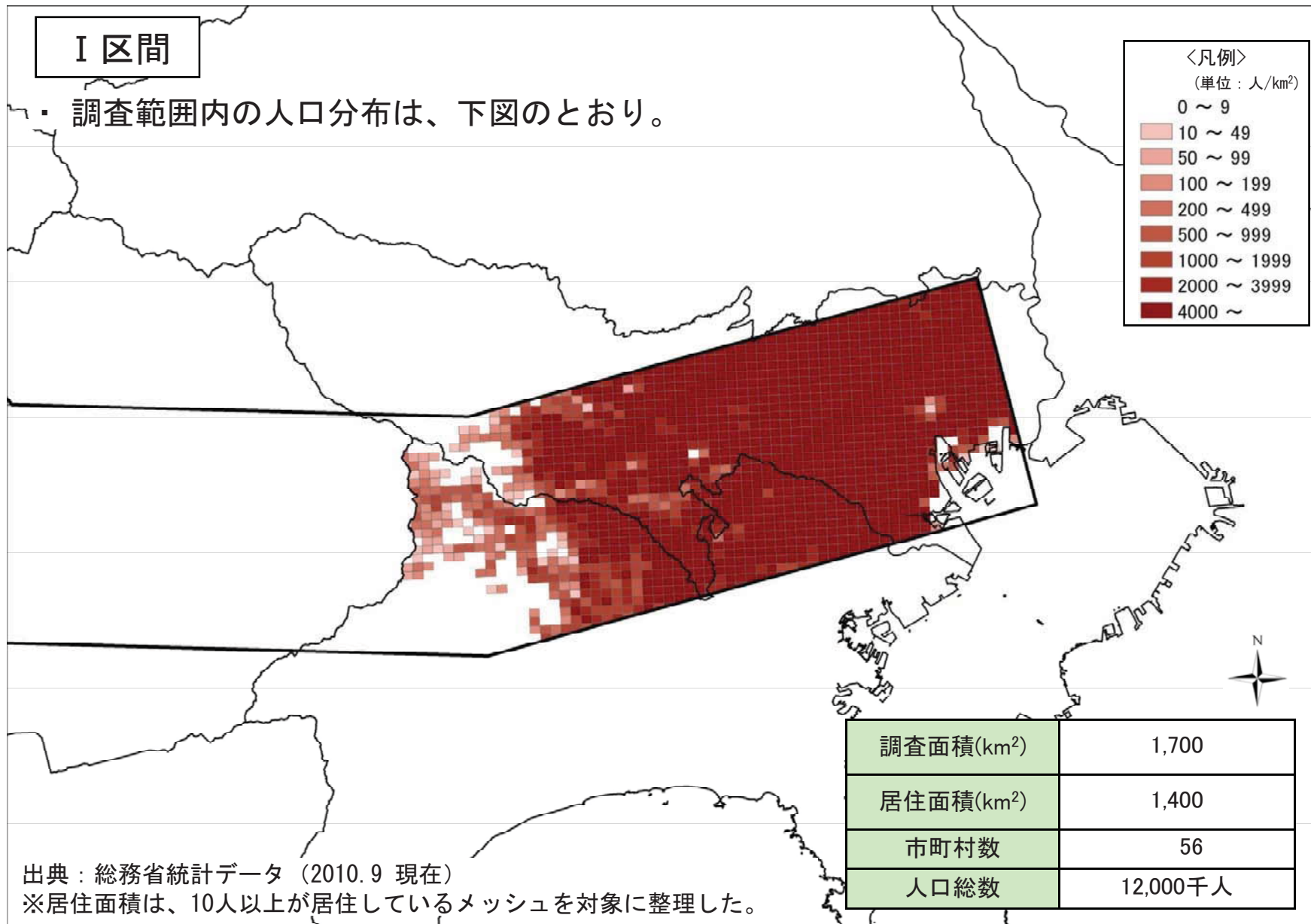


### ③調査範囲の周辺状況 <人口の状況>

#### 1. 調査範囲

#### I 区間

- 調査範囲内の人口分布は、下図のとおり。



出典：総務省統計データ（2010.9 現在）

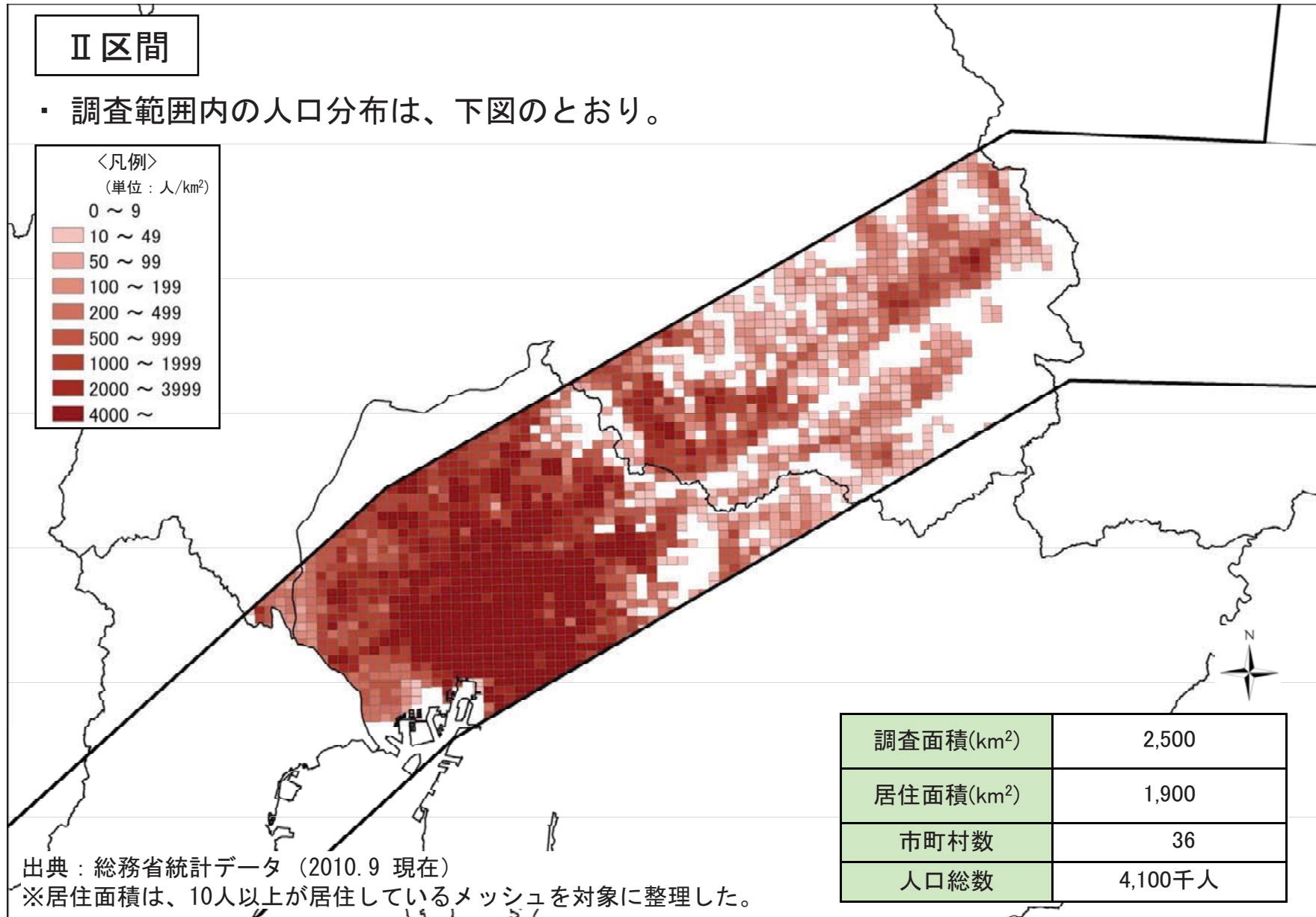
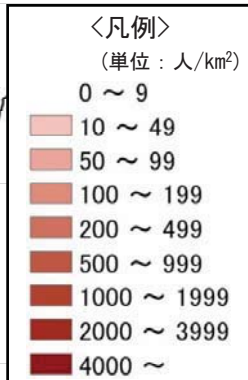
※居住面積は、10人以上が居住しているメッシュを対象に整理した。

### ③調査範囲の周辺状況 <人口の状況>

#### 1. 調査範囲

#### Ⅱ 区間

- 調査範囲内の人口分布は、下図のとおり。



調査面積(km <sup>2</sup> )	2,500
居住面積(km <sup>2</sup> )	1,900
市町村数	36
人口総数	4,100千人

出典：総務省統計データ（2010.9 現在）

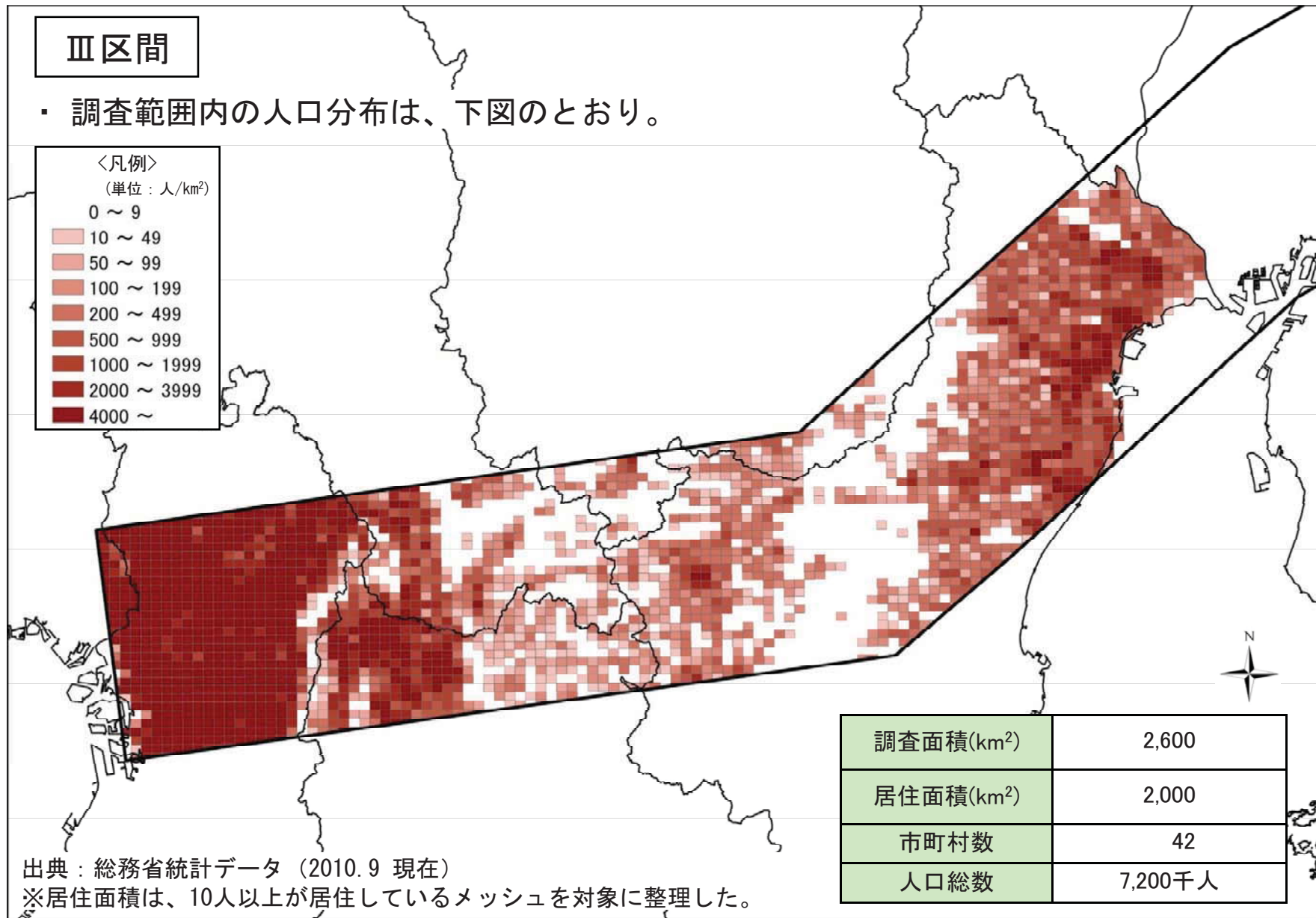
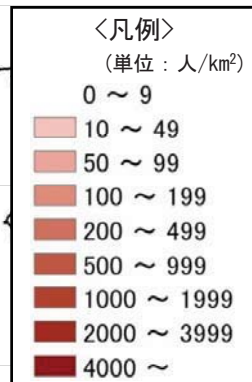
※居住面積は、10人以上が居住しているメッシュを対象に整理した。

### ③調査範囲の周辺状況 <人口の状況>

#### 1. 調査範囲

#### Ⅲ 区間

- 調査範囲内の人口分布は、下図のとおり。



調査面積(km <sup>2</sup> )	2,600
居住面積(km <sup>2</sup> )	2,000
市町村数	42
人口総数	7,200千人

出典：総務省統計データ（2010.9 現在）

※居住面積は、10人以上が居住しているメッシュを対象に整理した。



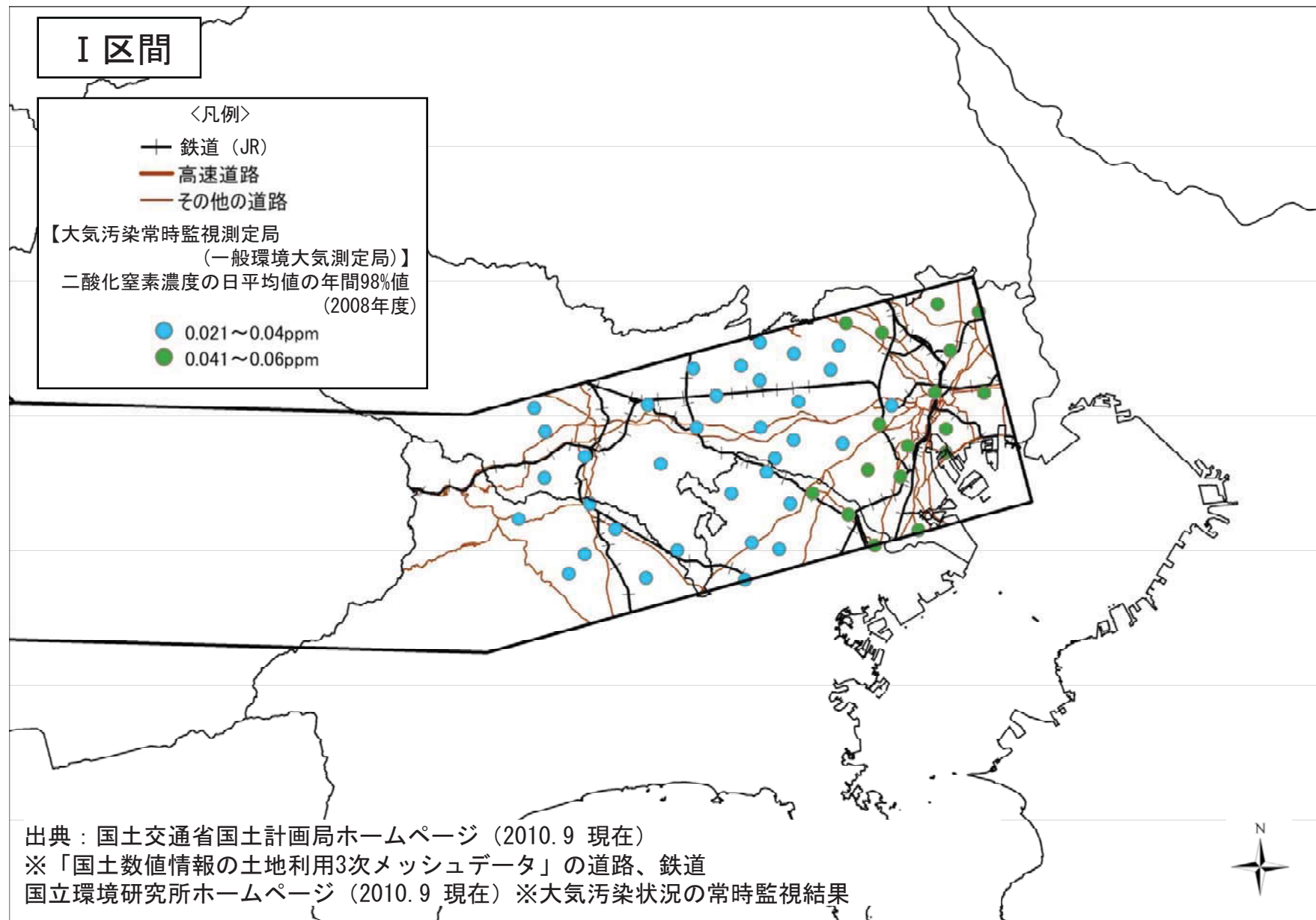
## 2. 地域特性

東京～大阪間の地域特性として、  
以下の8項目の環境要素についてとりまとめた。

環境要素	とりまとめ内容
① 大気環境	NO <sub>2</sub> 常時監視測定結果の概要、NO <sub>x</sub> 総量規制地域 <sup>※</sup> 、 自動車NO <sub>x</sub> ・PM法対策地域 <sup>※</sup> 、騒音・振動・悪臭規制地域
② 水環境	環境基準類型指定、工業用水法指定地域 <sup>※</sup> 、 建築物用地下水採取規制指定地域 <sup>※</sup> 、湧水
③ 土壌環境・その他	土壌汚染指定区域、注目すべき地形
④ 動物・植物・生態系等	自然公園、自然環境保全地域等、特別緑地保全地区等 <sup>※</sup> 、 鳥獣保護区、農業地域、森林地域、植生区分、 自然性の高い植生、特定植物群落、巨樹・巨木、藻場・干潟 <sup>※</sup> 、 ラムサール条約湿地 <sup>※</sup>
⑤ 景観	都道府県独自制度、自然景観資源
⑥ 触れ合い活動の場	主要な観光地
⑦ 文化財	文化財
⑧ 廃棄物・温室効果ガス	廃棄物・温室効果ガス

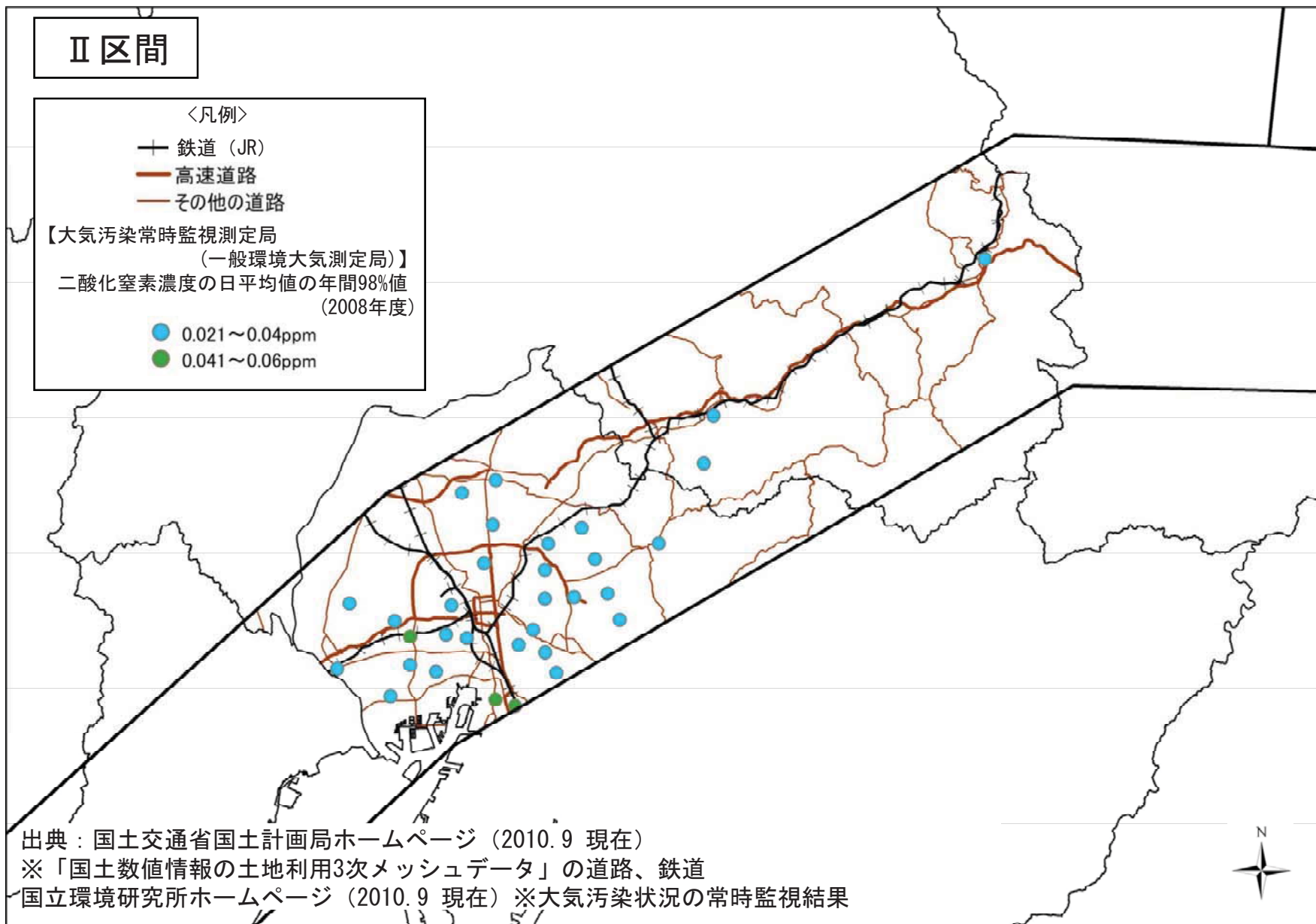
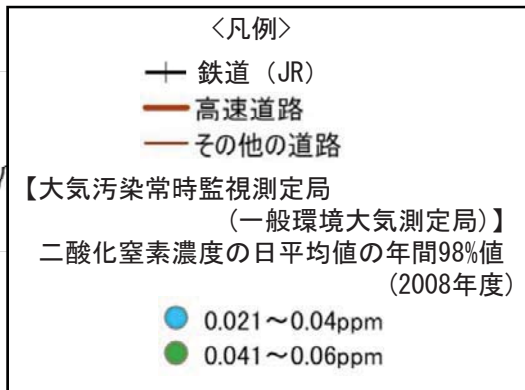
※のついた項目は、第9回小委員会の環境調査では、調査をしたが調査範囲内に無かった項目である。

# ①大気環境 <NO<sub>2</sub>常時監視測定結果の概要> 2. 地域特性



# ①大気環境 <NO<sub>2</sub>常時監視測定結果の概要> 2. 地域特性

## Ⅱ 区間



出典：国土交通省国土計画局ホームページ（2010.9 現在）

※「国土数値情報の土地利用3次メッシュデータ」の道路、鉄道

国立環境研究所ホームページ（2010.9 現在）※大気汚染状況の常時監視結果

# ①大気環境 <NO<sub>2</sub>常時監視測定結果の概要>

## 2. 地域特性

### Ⅲ 区間

